

日 本 獣 医 史 学 会

1 学会名：日本獣医史学会

(The Japanese Society of Veterinary History)

2 事務局所在地：

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学農学部獣医病理学研究室内
日本獣医史学会事務局 中山裕之
TEL 03-5841-5400
FAX 03-5841-8185
E-mail anakaya@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

3 目的：

本学会の会則第2条は「本会は獣医史を研究しその普及を図るとともに、獣医学の発展に寄与することを目的とする」となっている。この目的に沿って「温故知新」をモットーに掲げ、獣医、畜産、人と産業動物や伴侶動物との関わり、動物愛護やヒューマン・アニマル・ボンドなど、広い分野にわたる史実を明らかにすることによって、それらを現在の視点から考究しその成果を普及するとともに、さらに後世に伝えることを目指している。

4 組織：

代表者名：小佐々 学 (理事長)
役員：常務理事 2名
理事 6名
監事 2名
会員数 約160名 (現在)

(役員は会則に従って2年ごとに評議員の中から総会で選出される)

5 沿革：

1970年：獣医学の歴史を後世に伝えることの重要性を痛感した田中丑雄氏（東京大学名誉教授・元東京農工大学教授）が白井紅白氏（当時「獣医畜産新報」主幹）に獣医史に関する研究会の設立を提案した

1972年：6月に日本獣医史研究会の設立総会が開かれて会が発足し、事務局は文永堂（永井富五郎社長）に置かれた

1976年：「研究会」が「学会」に改組され、今日に至っている

歴代の会長・理事長：

田中丑雄 (1972年) 石井 進 (1983年)
添川正夫 (1986年) 黒川和雄 (1992年)
深谷謙二 (2007年) 小佐々 学 (2010年)

6 活動内容と特色：

(1) 毎年度、春秋2回の研究発表会を開催しており、こ

日獣会誌 65 662 (2012)



研究発表会の後に開催される懇親会にて

の発表会に引き続いて開かれる懇親会では、会員の親睦を図るとともに相互交流の輪を広げている。

(2) 会誌として「日本獣医史学雑誌」を定期的に刊行し、これを会員に配布している。

(3) 平成19年の本学会創立35周年には記念講演のほか、「日本獣医学人名事典」を刊行した。

(4) 日本医史学会、日本薬史学会、日本獣医史学会、日本歯科医史学会、日本看護歴史学会の医学系五史学会が連携して研究活動を行っており、毎年12月には五史学会合同例会を開き、研究発表会・懇親会で関連分野における活動の場を広げている。

(5) 世界獣医史学会 (WAHVM) に加盟して、国際的な情報交換を行っている。

本会は長年にわたって、獣医、畜産、伴侶動物などの歴史研究を通じて社会とかがわってきました。本会の趣意に賛同される方であれば、会員は獣医師である必要はありません。今後の活動をさらに盛んにするためにはこのような動物の歴史に興味や関心をお持ちの皆様のご入会を歓迎します。

会費年額：正 会 員 5,000 円

[ただし役員 (理事, 監事) 7,000 円]

学生会員 2,000 円 外国会員 5,000 円

賛助会員 一口 20,000 円以上

入会等の問い合わせ先：上記2の本会事務局まで

今年 (2012年) は本会の創立40周年にあたります。記念式典と記念講演会を10月27日 (土) 午後1時から東京大学農学部 (地下鉄 南北線「東大前」下車) のフードサイエンス棟中島ホールで開催予定です。会員の皆様は勿論、非会員の皆様の参加も歓迎いたします。

7 文責者：中山裕之